

報道関係者 各位

令和元年 12 月 25 日（水）

【照会先】

子ども家庭局 保育課

課長補佐 齊藤 克也（内線 4954）

保育士対策係長 岡本 裕太（内線 4858）

（代表電話）03(5253)1111

（直通電話）03(3595)2542

## 各都道府県において実施された平成31年保育士試験筆記試験（前期） の合格者等の追加について

標記試験については、試験の実施主体である各都道府県が試験事務を一般社団法人全国保育士養成協議会（以下「協議会」といいます。）に委託しておりますが、本日付けで、協議会より下記の事案の公表及び追加の合格者等に対する連絡が行われたのでお知らせします。

### 記

#### 1 事案の概要

令和元年8月2日付けで合格者に対して合格通知を発送した標記試験において、後日正答が存在しない不適切な問題（試験科目「子どもの保健」の問11）があったことが判明した。このため、当該問について全員正解とする取扱いをすることとしたため、追加の合格者等が生じることとなった。（詳細は、別添の協議会公表のとおり）

#### 2 追加となる合格者等の内訳

- |                     |                                   |
|---------------------|-----------------------------------|
| (1) 保育士となる資格を有する者   | 3人（東京都、奈良県、鳥取県）                   |
| (2) 筆記試験全科目合格者      | 12人（埼玉県、東京都、神奈川県、愛知県、滋賀県、大阪府、佐賀県） |
| (3) 当該科目（子どもの保健）合格者 | 753人（島根県、熊本県を除く全都道府県）             |

※筆記試験は全9科目にて実施。

全科目合格で実技試験を受験可能。実技試験合格により最終的な合格となる。

ただし、一定の要件を満たす者は、実技試験は免除される。

平成 31 年保育士試験（前期）の追加合格等について

平成 31 年保育士試験筆記試験（前期）において、下記のとおり不適切な出題があったことが判明したため、本日、追加合格等のお知らせを該当する受験者の方に発送いたしました。

受験者をはじめ都道府県・厚生労働省等関係者の皆様方に多大なご迷惑をおかけしましたことにつきまして、衷心よりお詫び申し上げます。

この度のことを重大かつ深刻に受け止め、今後は二度とこのようなことのないよう再発防止に努めてまいります。

令和元年 12 月 25 日

一般社団法人 全国保育士養成協議会  
会長 汐見 稔幸

記

平成 31 年保育士試験（前期）の結果については、本年 8 月 2 日に合格通知書等を発送いたしましたが、筆記試験問題を見直した結果、不適切な問題があることが判明しましたので、次のように取り扱うことといたしました。

問題	正答		今回の採点上の取り扱い
	発表済み	今回	
「子どもの保健」問 11	4	正答なし	全員正解

不正解とされた全受験者について採点をし直し、改めて合否判定をした結果（別紙参照）、追加合格者 3 名等を決定し、本日（12 月 25 日）、該当する受験者の方に追加合格等のお知らせを発送いたしました。

平成 31 年保育士試験筆記試験（前期）における正答の取り扱いについて

【平成 31 年筆記試験（前期）「子どもの保健」問 11】

問 11 次の A～Eのうち、「発達障害者支援法」（平成 28 年一部改正）の支援の対象となるものを  
○、対象とならないものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 選択性緘黙
- B 注意欠如・多動症（注意欠陥・多動性障害）
- C 限局性学習症（学習障害）
- D トゥレット症（音声および多発性運動性の合併したチック障害）
- E 反応性アタッチメント障害（反応性愛着障害）

（組み合わせ）

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	×	○
2	○	×	○	○	×
3	○	×	×	○	○
4	×	○	○	○	×
5	×	○	○	×	○

採点上の取り扱い

全員正解とする。

理由

当初、組み合わせ 4 を正答としていたが、組み合わせ 4 については、A と E は、「発達障害者支援法の施行について」（平成 17 年 4 月 1 日 17 文科初第 16 号・厚生労働省発障第 0401008 号 文部科学事務次官・厚生労働事務次官連名通知）において、発達障害者支援法の対象となるとされているため、「○」である。

従って、本問は正しい組み合わせを一つ選ぶことができないため、「正答なし」とする。